

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交通政策課（内線：7100）

3 目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源					
(新)ようこそようこそ!鳥取「鉄道の旅」PR支援事業	4,788	0	4,788				4,788					
トータルコスト	5,595千円（前年度 0千円）[正職員：0.1人]											
主な業務内容	委託事務											
工程表の政策目標（指標）	智頭急行スーパーはくと等の増便・延伸など幹線鉄道網の充実 関西圏との交流人口の増（スーパーはくと） （智頭急行利用者数：1,200,000人）											
事業内容の説明												
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取への「鉄道の旅」の魅力を京阪神地区等で情報発信することにより、高速道路のPRと併せた相乗効果により鳥取への観光客の拡大を図りつつ、鉄道を利用した観光誘客を推進し、鉄道利用者の拡大、ひいては鉄道の利便性向上を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>鳥取の観光地の魅力と鉄道アクセスによる近さ、早さ、快適さをPRし、鳥取への「鉄道の旅」を発信するための映像資料を作成し、鉄道事業者、市町村等と連携して鉄道の利用促進を図る。</p> <p>(1) 映像資料の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>仕様・数量</td> <td>30秒程度の動画×4本程度</td> </tr> <tr> <td>利用方法</td> <td>鉄道事業者が行う広報（京阪神地区を運行する鉄道車内モニターによるCM放映等）</td> </tr> </table> <p>(2) 予算額 4,788千円（制作委託費）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>【指標】智頭急行利用者数：1,200,000人 → 【現状】（H20）1,213,839人 鉄道事業者による旅行プラン（かにカニ日帰りエクスプレス）やテレビCM等に加え、智頭線利用促進協議会（智頭線沿線3県及び市町村）で京阪神地区からの誘客促進のイベント等に取り組んでいる。</p> <p>(※)平成21年度上半期 智頭急行特急列車乗車人員 対前年比83.4%</p>									仕様・数量	30秒程度の動画×4本程度	利用方法	鉄道事業者が行う広報（京阪神地区を運行する鉄道車内モニターによるCM放映等）
仕様・数量	30秒程度の動画×4本程度											
利用方法	鉄道事業者が行う広報（京阪神地区を運行する鉄道車内モニターによるCM放映等）											